

## 第6次玉城町総合計画 構成

## 第1部 計画策定にあたって

## 第1章 計画策定の趣旨

## (1) 計画策定の趣旨

・「第6次玉城町総合計画」の計画期間が終了するため、社会経済情勢の変化、玉城町の課題等を踏まえて、次の10年の行政運営の指針となる「第6次玉城町総合計画」を策定

## (2) 計画の位置づけ

・総合計画は本町の最上位計画。総合計画に示す指針や方向に基づいて、施策・事業を推進

## (3) 計画の構成と期間

・令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)を目標年次とした10か年計画

基本構想: まちの将来像及び将来像実現に向けたまちづくりの目標を示す。

基本計画: 基本構想に基づき、総合的かつ一体的に推進する施策、手段を体系的に示す。

実施計画: 基本計画で定めた施策を実現するための具体的な取組内容を示す。3か年ローリング方式により策定。

## 第2章 計画策定の背景

## (1) 社会経済動向の変化と計画に求められる視点

## ① 人口構造の変化

- ・超高齢社会の進展  
⇒在宅介護、在宅医療へのシフト、総合的な認知症対策
- ⇒高齢者の就労・社会参加
- ・生産年齢人口・年少人口の減少  
⇒人材不足育成、若者の定住・女性活躍の促進

## ② インフラ・空間の変化

- ・インフラの老朽化・維持管理効率の低下  
⇒インフラの長寿命化、施設の集約・複合化・有効活用
- ・都市の低密度化、スポンジ化  
⇒空家・空地対策、公共交通の維持

## ③ 技術・社会の変化

- ・ソサエティ-5.0  
⇒新技術の活用による地域課題解決、スマートシティ
- ・価値観の変化・多様化、外国人の増加  
⇒関係人口の拡大、多文化共生、SDGs

## (2) 玉城町の主要課題

- ① 子どもの成長を育む環境づくり  
・子育て環境の魅力の強化、子どもの成長に応じた支援
- ② 住民の生きがいづくりと交流の促進  
・文化・芸術、スポーツ施設の計画的な更新・維持管理
- ③ 安心な暮らしを支える助け合いの仕組みづくり  
・「医療」「介護」「予防」「生活支援」のサービスの連携
- ④ 安全な生活環境の維持  
・自助・共助・公助の取組による地域の防災力の強化
- ⑤ 産業の持続的発展  
・地域産業の付加価値と持続性の向上、観光魅力の創出
- ⑥ 便利で快適な生活環境の維持  
・上・下水道施設の計画的・効率的な更新と維持管理  
・元気バスの利便性向上策の検討
- ⑦ 自立性と効率性の高い地域運営の実現  
・多様な団体・グループ間の連携・協力による活動の展開  
・安定的な財政運営と公共施設の適正な更新・維持管理

## 第2部 基本構想

## 第1章 まちの将来像

継承・育成…まちの良さを守り育てる  
挑戦・希望…将来の希望につなげる  
協働・創造…みんなとともに創る

『だれもが安心して、元気に暮らせるまち ふるさと玉城』

## 第2章 将来人口

## ① 将来人口

2030年(令和12年) 15,259人

## ② 年齢別人口構成(2030年)

0～14歳: 2,088人 (13.7%)

15～64歳: 8,708人 (57.1%)

65歳以上: 4,463人 (29.2%)

## 第3章 まちの将来目標

## 人と文化が育ち、愛着が感じられるまち

・妊娠、出産、育児、就学までの切れ目のない相談・支援の充実  
・子育て世帯の働き方に応じた保育や子どもの居場所づくり  
・学校、地域、家庭の連携による子どもの豊かな体験・学びの場の拡大

## みんなが健康で、ともに支え合うまち

・健康で生きがいのある生活ができるように、健康づくりの促進  
・高齢者・障がい者が地域でいつまでも生活できるように、地域における支え合い・助け合いの仕組みの構築

## 良好な環境の中で、安全に暮らせるまち

・住民の防犯・交通安全意識の向上と犯罪や交通事故のない安全なまちづくり  
・自然災害に対する住民、地域、行政の対応力を高め、地域の防災力を強化  
・自然環境の保全、資源循環の推進による快適で持続性の高い環境の形成

## まちの活力を高め、持続的に発展できるまち

・地域産業の生産性と付加価値の向上  
・活発で円滑な都市活動を支える都市基盤の充実  
・地域の産業・文化資源を有効に活用した魅力の発信と観光交流の促進

## ともにつくる効率的な地域運営のまち

・多様な団体・グループの連携による活発な活動の展開と協働のまちづくりの推進  
・安定的な財政運営と地域課題への的確な対応  
・民間の技術・ノウハウの活用による効率的な行政運営と行政サービスの向上